

北広島町各事業における 新型コロナ対策スタッフ共通マニュアル

令和2年11月

北広島町、北広島町体育協会、一般財団法人どんぐり財団

体制

新型コロナ対策担当スタッフは原則として専任とする。

兼任がやむを得ない場合は、責任者をたてる。

他のスタッフは新型コロナ対策に関しては専任スタッフまたは責任者の指揮監督下に入る。

専任スタッフまたは責任者業務内容

■ 事前準備段階での対応

1. 保健所との連絡体制構築

イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合に備えて、保健所の担当部署の連絡先を把握しておく。

2. 参加者名簿作成・保存

万が一感染が発生した場合に備え、参加者より名簿の提出を求める。個人情報のため取り扱いに十分注意し、保存期間は少なくとも1ヶ月とする。

名簿は原則データベース化する。

紙で保存の場合、シュレッダーで裁断する。

3. 社会的弱者等対応マニュアル作成（添付1参照）

誘導や介助を行う場合はソーシャルディスタンスの適用外とするため、対応マニュアルを作成しておく。

マニュアルは対応する対象者によって各種作成する。

①高齢者・妊婦・乳幼児連れの人・ヘルプマーク所持者

②肢体不自由者

③視聴覚障がい者

④精神障がい者・発達障がい者・知的障がい者

⑤外国人

4. 各会場における手洗い場、手指消毒設備の把握

各会場の手洗い場、手指消毒設備の確認を行い、その場所を落とし込んだ平面図を作成しスタッフ全員に配布する（当日は会場に掲示する）。

屋外会場の場合、仮設手洗い場の設置、テント対応による更衣室、休憩、待機スペースの確保を図面上で把握確認しておく。

5. その他会場で確認すべき事項

屋内、屋外ともに更衣室、休憩、待機スペースの広さを確認し、ゆとりがない場合は一度に利用する人数を制限（通常の1/2）するなどの措置を講じ、当日の運営マニュアルに落とし込む。

ゴミ箱は原則設置しない。※原則としてゴミは各自持ち帰ってもらう。

■ 参加募集時の対応

1. 確認書面の作成（添付2参照）

参加募集時に参加される方へ質問票（確認書面）を渡し記入してもらう。

○確認書面の記入事項

- ①氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
- ②利用当日の体温（当日非接触体温計にて計測）
- ③利用2週間前における以下の事項の有無
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・嗅覚や味覚の異常
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ④過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

2. マスク持参呼びかけ及び予備マスクの準備

参加受付時や着替え時等や会話する際にはマスク着用を求める。
万ーマスク不携帯の人がいた場合は予備マスクを提供する。
フェースガード・マウスシールドも可とする。

3. 手洗い及び手指消毒徹底の呼びかけと案内図の作成

会場の手洗い場や手指消毒設備の場所の案内図を用意し、こまめな手洗い、手指消毒を徹底する。

4. ソーシャルディスタンスの呼びかけ

他の参加者やスタッフ等との距離《できるだけ2mを目安に（最低1m）》確保することを呼びかける。

5. 大声での会話、応援等の原則禁止の呼びかけ

6. コロナ対策に関するその他の措置の遵守の呼びかけ

遵守できない参加者には他の参加者の安全を確保する観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあることを周知徹底する。

7. 呼びかけの際のハンドメガホン準備

大声での呼びかけを避けるため、小型のハンドメガホンなどを使用する。

■ 当日の参加受付時の対応

1. 受付窓口に手指消毒剤を設置
2. 発熱や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は受付できないことを呼びかける
3. 人と人が対面する場所はアクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
4. 参加者が距離をおいて並べるように目印（足型等）の設置を行う
5. 混雑を想定した待機場所を確保し、誘導に務める
6. 受付スタッフにはマスクを着用させる
7. 質問票（確認書面）の提出を受ける

当日の体温、咳、咽頭痛、倦怠感、呼吸困難、嗅覚味覚異常や同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は参加見合わせを求める。

※万一参加見合わせの要請に対してトラブルが発生した場合は、専任スタッフまたは責任者が対応し説得する。拒否された場合は参加をお断りする。

■ 参加者への対応

1. マスク等の準備

参加者がマスクを着用しているか確認する。

マスク不携帯の人には予備のマスクを提供する。

運動、スポーツ中のマスク着用は参加者判断によるものとする。

食のイベントに関しては、会場内は原則飲食時以外はマスク着用を求める。

なんらかの疾患や特別の事情でマスクが着用できない人には、専任スタッフまたは責任者が個別対応する。

2. 参加前後の留意事項

ミーティングや懇親会等においても3密を避けるよう呼びかける。

会話時のマスク着用を呼びかける。

■ 当日の会場での対応

専任スタッフまたは責任者は運営スタッフを指揮監督し、以下の事項に対応する。
会場内は定期的に巡回し確認する。

1. 手洗い場所

手洗い場にはポンプ式石鹸を用意する。

「手洗いのやり方」を図示し掲示する。※30秒以上の手洗い励行
手を拭くための使い捨てペーパータオルを必要に応じて用意する。
※参加者にあらかじめマイタオルの持参を求めておく。
手指を乾燥させる設備がある場合は、これは使用禁止とする。

2. 更衣室、休憩・待機スペース

広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

※高齢者、障がい者等の介助を行う場合は除く。

ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に利用する人数を制限（通常の1/2）する等の措置を講ずる。

室内またはスペース内で複数の参加者が触れると想定される箇所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）についてはこまめに消毒する。

換気扇を常に回す、換気用の窓を開ける等、換気に配慮する。

スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする。

3. 洗面所

トイレ内の複数の参加者が触れると想定される箇所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）についてはこまめに消毒する。

トイレの蓋を閉めて水を流すよう表示する。

手洗い場にはポンプ式石鹸を用意する。

「手洗いのやり方」図示し掲示する。※30秒以上の手洗い励行
手を拭くための使い捨てペーパータオルを必要に応じて用意する。
※参加者にあらかじめマイタオルの持参を求めておく。
手指を乾燥させる設備がある場合は、これは使用禁止とする。

4. 飲食提供時

参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう呼びかける。
飲料についてはペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する。
果物等の食品については同じトング等で皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを提供するなど工夫をする。
飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させる。
対面の飲食は避ける。

5. 参加者管理

施設（運動公園等）利用及びスポーツイベントでは利用者や観客同士が密な状態にならないよう、必要に応じ、あらかじめ利用者や観客数を減らすなどの対応をとる。
食のイベントでは密にならない人数を把握し、会場への入場制限などの対応をとる。
大声での声援や会話を控えるよう呼びかける。
施設（運動公園等）利用及びスポーツイベントや食のイベントでマスクを着用すること等の留意事項を周知徹底する。

6. 会場換気

室内イベントで実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。
換気設備を適切に運転する。
定期的に窓を開けて外気を取り入れ換気を行う。
※保健所の指導を仰ぐ

7. ゴミの廃棄

鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉し縛る。ゴミを回収するスタッフはマスクや手袋を着用する。
マスクや手袋を脱いだあとは必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒を行う。

8. 清掃・消毒

市販の界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃する。
通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒（イベント前後）。
イベント開催中も必要に応じて、手すり等の共有部を消毒する。

北広島町各事業における 新型コロナ対策参加者共通マニュアル

令和2年11月

北広島町、北広島町体育協会、一般財団法人どんぐり財団

参加者が遵守すべき事項

1. 質問票の項目に該当した箇所がある場合は自主的に参加を見合わせる

○質問票の項目は以下のとおりとする

①利用当日の体温（当日非接触体温計にて計測）※37.5度以上の場合NG

②利用2週間前における以下の事項の有無

- ・平熱を超える発熱
- ・咳、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

③過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

2. マスクを持参する

参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には着用する。

3. 手洗い、手指消毒をする

会場内手洗い場及び手指消毒設備配置図を参考に、こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を実施する。

4. ソーシャルディスタンスを確保する

他の参加者や運営スタッフ等との距離《できるだけ2mを目安に（最低1m）》を確保する。

※高齢者、障がい者の誘導や解除を行う場合は除く。

5. 大きな声の会話、応援の自粛

イベント中に大きな声で会話したり、大声での応援、声援はしない。

6. 感染防止措置の遵守等

主催者が決めた感染防止のためのその他の措置を遵守する。

主催者の指示に従う。

7. 新型コロナウイルスに感染した場合の報告

イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告することを義務付ける。

8. イベント参加前後の留意点

イベント前後のミーティングや懇親会等においても3密を避ける。

会話時にマスク着用をする。

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点（屋内）

1. ソーシャルディスタンス（十分な距離の確保）

運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離をとる。《できるだけ2mを目安に（最低1m）》

※介助者や誘導者の必要な場合は除く。

強度が高い運動・スポーツの場合は呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける。水泳時などでマスクをしていない場合には十分な距離を空けるよう特に留意する必要がある。

2. 歩く・走るスポーツでの位置取り

歩く・走るスポーツにおいては前の人の呼気の影響を受けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取りする。

3. タオルの共用はしない

マイタオルを持参する。

4. 飲食について

飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。

同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしない。

飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない。

5. 観客について

座席ありの場合：1席以上の間隔を確保する。

座席なしの場合：原則、前後左右2mの間隔を確保する。

6. 換気について

換気扇を常に回す、換気用の窓を開ける等、換気に十二分に配慮する。

食のイベントに参加する際の留意点（屋外）

1. ソーシャルディスタンス（十分な距離の確保）

会場内では感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離をとる《できるだけ2mを目安に（最低1m）》。

※介助者や誘導者の必要な場合は除く。

売店で行列ができた場合、十分な間隔をおく。

2. 入場制限

入場制限がかかった場合は、運営スタッフの指示に従い待機する。

3. 手洗い・手指消毒の励行

会場に入る際には手洗い、手指消毒を行う。

その際、掲示してある「手洗いのやり方」を参考にして行う。

タオルはマイタオルを持参する。

4. マスク着用

会場内ではマスクを着用する。

5. 飲食時

飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。

食品のシェアは行わない（同じ容器から取り分けはしない）。

箸、容器、コップ等の使い回しは行わない。

6. 売店購入時

混雑時は原則、前後左右2mの間隔を確保する。

7. ゴミの処理

食べ残し、飲み残し、箸、容器、コップ等は指定場所に捨てる。

指定場所以外に捨てることは厳禁。

チェックリスト

□チェックリスト

イベント名

開催日時

会場

参加者想定

全般的事項

- 適切な感染防止策策定・実施
- 出入口に手指消毒設備設置
- 会場内適切な場所への手洗い場、手指消毒場所、参加者の留意事項掲示
- 定期的な巡回・確認
- 感染発生に備えた質問票の作成、配布、回収
- 質問表が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されることを参加者に事前周知
- イベント終了後、参加者から感染したとの報告があった場合や地域で感染拡大の可能性がでた場合の対応方針の策定

参加者への依頼事項

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加見合わせを要請
 - ・体調がよくない場合（例；発熱・咳・咽頭痛・味覚障害等）
 - ・新型コロナウイルス陽性と判明した方との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒
- 会場内混雑を防止するため入場制限する必要があることへの理解
- 参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保（高齢者、障がい者等の誘導・介助の場合は除く）
- イベント中の大きな声での会話禁止
- 原則としてゴミは持ち帰る
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所の行動履歴等の調査への協力を要請
- イベント前後のミーティングや懇親会等における3密の回避
- その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示の遵守

施設・会場

リスク評価

- 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定
- 高頻度接触部位（テーブル、イスの背もたれ、ドアノブ、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり、つり革、エレベーターのボタン等）には特に注意
- 換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか、施設内で大声を出す場がどこにあるかなどを評価

本会場

- 会場の換気の徹底（窓開け、機械換気など）
- 不特定多数が接触する場所は、定期的に清拭消毒を実施

共用物品・設備の消毒

- 他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする
- 複数の人の手が触れる場所・物品を適宜消毒。特に、手や口が触れるものは、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を実施

トイレ

- 便器内は通常清掃
- 不特定多数が接触する場所は清拭消毒
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示
- ハンドドライヤー禁止、ペーパータオル設置

休憩スペース

- 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする
- 常時換気を実施
- 使用する際は、入退室の前後に手洗いを実施

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る
- ゴミを回収する人はマスクと手袋を着用
- マスクや手袋を脱いだあとは、必ず石鹸と流水で手洗い

清掃・消毒

- 市販の界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃
- 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を清拭清掃（開催前後）
- イベント中も、必要に応じて手すり等の共用部を消毒
- 手が触れることのない床や壁は通常の清掃

運営

開催・運営にあたっての留意点

- イベント時間は可能な限り短縮し、感染リスクを圧縮
- 至近距離での対面接触の機会を縮減
- 座席を減らすなど、人と人との間隔を確保
- 会場設営は可能な限り簡素化し、設営に要する人員・時間の縮減
- 障がいのある方、高齢者、基礎疾患のある方など、感染時に重篤化する可能性が高い方に特に配慮（参加させない、入口や会場を分けるなどの工夫）

当日の受付時対応

- 入口、受付窓口に手指消毒剤の設置
- 参加者の検温（非接触型体温計や赤外線カメラ：ある場合）で体温を確認
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場させない
- 人と人が対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテンなどで遮蔽
- 参加者が距離をおいて並べるよう目印（足型等）を設置
- 受付を行うスタッフはマスクを着用
- 参加者に対して、「イベント参加者への依頼事項」の呼びかけ

イベントスタッフ等

- スタッフは運営に必要な最小限の人数とする
- ユニフォーム等については、こまめに洗濯を行い清潔を保つ
- イベント中に体調変化をきたしたスタッフがいないか注意する
- 休憩時間は分散化し、対面での食事、会話を避ける
- 休憩時には窓を開けるなど換気を徹底する
- スタッフに対する感染防止に係る教育の実施（アルバイトを含む）

参加者

- 人数上限、収容率を遵守し、以下に留意
 - ・ 座席ありの場合：1席以上の間隔を確保
 - ・ 座席なしの場合：原則、前後左右2mの間隔を確保
- 屋内、屋外の別、実施目的・方法により、具体的な間隔を検討し明示する

観客

- 人数上限、収容率を遵守し、以下に留意
 - ・ 座席ありの場合：1席以上の間隔を確保
 - ・ 座席なしの場合：原則、前後左右2mの間隔を確保
- 屋内、屋外の別、実施目的・方法により、具体的な間隔を検討し明示する

物販、売店、飲食

感染状況を見つつ実施の判断をする

実施する場合は最低限とし、次に留意する

- ・ 人員整理などによる待ち時間行列の間隔確保（足型設置）、抑制への配慮
- ・ 飲食売店、飲食スペースの厳重な衛生的配慮（できていない場合は飲食等の販売を認めない）

マスメディア（取材）

取材時の人と人との間隔確保

取材者の把握及び注意事項等の徹底

マスク着用

参加者・観客等の動線

会場内、動線上、人を滞留させない

誘導員による適切な誘導

複数かつ余裕のある動線の確保

時間差入退場などの工夫

事前ミーティング

イベント開催にあたっての会議・打合せは必要最低限の人数で実施

会議・打合せ時間は可能な限り短縮する（事前の資料配布など、方法の工夫）

会議・打合せは可能な限り広い空間で行い、換気を徹底

スポーツイベントに関する特記事項

イベント参加者への依頼事項

体調確認のため、体温等を事前報告（個人情報取り扱い注意）

運動・スポーツ時以外のマスク着用※運動・スポーツ時のマスク着用は実施種目ごとに判断する

施設・会場

更衣室、休憩・待機スペースは3密を避け、高頻度接触部位の消毒実施

運営

参加者に飲食物（栄養補給）を提供する際は、手洗い、手指消毒の実施の呼びかけ、大皿での供与はしないなど配慮する

観客については、大声での声援や会話を控えることやマスク着用を要請

添付1；社会的弱者等対応マニュアル(例)

1. 声かけ

対象者に声をかける際は、正面に立たず、横または斜め後方から声をかける。

視覚障がい者の方には「こんにちは」と一言声をかけ肘あたりにそっと手を触れ、「なにかお手伝いすることありますか」と続ける。

外国の方には自動翻訳機アプリを準備し声をかける。

2. 誘導・介助

高齢者・妊婦・乳幼児連れの人・ヘルプマーク所持者、肢体不自由者、

視聴覚障がい者の方にはお手伝いする内容（支援内容）をお聞きし、支援に入る。

その際、顔と顔の接近は極力避けることを意識する。

マスクは絶対外さない。

聴覚障がい者の方には筆談できるメモと筆記具を準備しておく。

日本語が分からない外国人の方には自動翻訳機アプリを使い、支援内容を把握する。

精神障がい者、発達障がい者、知的障がい者の方に付添介助の方がいれば、その方に対応する。もしいない場合は外見上見分けがつかないので通常対応（ソーシャルディスタンスをとって）とする。

3. 消毒

対応後は手を洗い、手指消毒をする。

添付2;質問票(例)

質問票

記入日	年	月	日
(ふりがな)			
氏名			歳
住所	〒		
電話番号(携帯)			

下記項目にチェックをお願いします。

①から⑧の項目で一つでも当てはまる方は受付までお声かけください。

- ①37.5度以上の熱がある(当日)
- ②咳、のどの痛みなど風邪に似た症状がある
- ③だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある
- ④同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ⑤新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触歴がある
- ⑥2週間以内に海外渡航歴がある
- ⑦2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触歴がある
- ⑧2週間以内に〇〇人以上が屋内で集まる集会やイベントに参加したことがある(人数については参加した集会やイベントの状況等により判断する)

※ご記入いただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症予防のため、保健所やその他の関連機関に提供する場合があります。